

竹島＝独島問題ネットニュース、46号

2023.5.8

竹島＝独島問題研究ネット

<http://www.kr-jp.net>

2021年にはほとんど見られなかった研究発表が、2022年には多少あったので、二年ぶりにネットニュースをまとめました。

記事一覧

1. 【論文】朴炳涉「日本の第3次鬱陵島侵入事件と鬱陵島奪取の企図」
2. 【研究会報告】玉田大「国際裁判に於ける領土主権紛争の存在認定」
3. 【勉強会報告】『竹島資料勉強会報告書「明治10年太政官指令」の検証』
4. 【論説】塚本孝「朝鮮国交際始末内探書再考」
5. 【DVD】「最新研究による竹島＝独島問題」
6. 【集会】第5回「竹島の日」を考え直す集い in 東京

記事詳細

1. 【論文】朴炳涉「日本の第3次鬱陵島侵入事件と鬱陵島奪取の企図」

『獨島研究』33号, pp.7-39

1880年前後、外務省で竹島・松島の島名混乱を引き起こす一方、日本人の第三次鬱陵島(松島)侵入の契機をつくったのは、ウラジオストックで貿易事務官を務める瀬脇寿人であった。本稿は第一に、彼が松島を日本領と信じるようになった基本資料が、彼の翻訳した「コルトン氏 日本地図」であることを明らかにする。第二に、瀬脇の勧めに応じてロシア公使の榎本武揚中将周辺の者たちが松島での伐木事業を始めたことを明らかにする。第三に、日本人の鬱陵島侵入を抗議する朝鮮政府へ、なぜ日本政府は虚偽の回答をおこなったのか、日本の対処を分析する。第四に、日本政府は再度の朝鮮の抗議にほとんど対処しなかったが、その原因は壬午軍乱にあり、日本政府はこの事件を利用して松島を奪取しようと企図したことを明らかにする。第五に、鬱陵島へ侵入した日本人が朝鮮官吏へ抗弁した文言の韓訳をめぐる研究者間の論争にもふれるなど、本稿は日本の第3次鬱陵島侵入事件にて残る課題を解明する。

(日本語)<http://www.kr-jp.net/ronbun/park/park-2212-3rd.pdf>

(韓国語)<http://www.kr-jp.net/ronbun/park/park-2212k-3rd.pdf>

2. 【研究会報告】玉田大「国際裁判に於ける領土主権紛争の存在認定」

『国際法からみた領土と日本』東京大学出版会、2022, pp.231-254, pp.6-17

韓国は竹島＝独島の領土紛争を認めていないので、日本は紛争解決の手続きや交渉ができないでいる。韓国に紛争を客観的に認めさせる手段として、国連海洋法条約の付属書Ⅶに規定された仲裁裁判所における「沿岸国訴訟」を利用する方法がある。この仲裁裁判所は、クリミア半島のように主権紛争が存在する場合には管轄権を有しないとされるので、審査の過程で紛争の存在有無が明らかになる。

日本が何かの事件にこと寄せて沿岸国訴訟を提起すれば、客観的に竹島＝独島に関する主権紛争の存否を公式に確認できる。この訴訟がおこなわれた場合、日本の申し立ての内容に応じて仲裁裁判所がどのような判決を出すのか予想する。なお、こうした仲裁裁判所の利用は濫用との批判もあり得る。

http://www.kr-jp.net/member/ronbun_cl/msc_ron_cl/tama-2022-UNCLOS.pdf

【コメント】この研究は、元外務省のシンクタンク、日本国際問題研究所(JIIA) が立ち上げた「領土・主権・歴史調査研究」プロジェクトにおける「領土・主権分科会」の研究成果を刊行した前記書籍にて公表された。この提言を受けた外務省は「沿岸国訴訟」を起こすのかどうか、それは両国間「紛争」の雰囲気や規模、政治情勢次第であろう。

3. 【勉強会報告】『竹島資料勉強会報告書「明治10年太政官指令」の検証』JIIA, 2022

前記 JIIA の竹島資料勉強会にて島根県竹島問題研究会のメンバーらを中心に勉強した成果を3月に公表。

朴ハンミンが発掘した『花房義質関係文書』を見ると、内務省は長崎県令への回答書(1877)にて「松島」を鬱陵島と理解していた。同様に、この半年前に竹島・松島を日本と関係ないとした「太政官指令」にて内務省が考える松島も鬱陵島であり、今日の竹島＝独島を対象としていない。

序章 報告書の問題意識と各章の要旨	竹島資料勉強会
第1章「日本海内竹島外一島地籍編纂方向」の検討過程	竹島資料勉強会
第2章“太政官指令”と元禄の日朝交渉	塚本 孝
第3章 山陰地方の歴史から考える「太政官指令」問題	杉原 隆
第4章 島根県の地籍編纂と竹島外一島地籍編纂方向	内田 てるこ
第5章 当事者の認識(太政官及び内務省)から見た「竹島外一島」	竹島資料勉強会
第6章 明治10年「太政官指令」当時の政治情勢	松澤 幹治
第7章 明治16年太政官内達の検討	山崎 佳子
第8章 韓国の竹島領有主張と「太政官指令」	藤井 賢二
第9章 韓国社会科教育における竹島問題と「太政官指令」	藤井 賢二
補章 李奎遠と『鬱陵島検察日記』について	永島 広紀

資料編(『公文録』)

https://www.jiia.or.jp/pdf/research/R03_Takeshima/Jiia_Takeshima_research_report_2022.pdf

【コメント】この勉強会は資料の恣意的な取捨選択、解釈が著しい。内務省は伺書を太政官へ提出するにあたり『磯竹島覚書』を調査したので、当然そこに書かれた松島が島根県伺書の松島(竹島=独島)と同じであると判断したのであろう。また、太政官の考える松島と島根県の考える松島が一致することは、『太政類典』第二篇第96巻をみれば明らかである。同書は項目「日本海内竹島外一島を版図外と定む」にて、島根県伺書にある原由の大略を筆写し、松島について「次に一島あり、松島と呼ぶ、周回30町・・・」と記録した。このように、竹島・松島を日本の版図外にした太政官指令において、島根県・内務省・太政官の考える松島は同一であり、今日の竹島=独島である。そのうえで、内務省は長崎県のいう松島は、島名混乱を受けた名称であり、これは太政官指令にいう竹島(鬱陵島)を指すと正確に理解したのである。勉強会はこうした不都合な資料の分析を欠いている。

4. 【論説】塚本孝「朝鮮国交際始末内探書再考」『島嶼研究ジャーナル』12巻1号、2022

①1870年、外務省の佐田白茅らは、よく知られているように朝鮮を内探した際に民部省の依頼も受け、元禄期の竹島(鬱陵島)一件を調査し、表題の内探書に「竹島・松島朝鮮附属に相成候始末」を記した。これは単に個人の見解を示した報告書であり、松島(独島)が韓国領であることを証明する文書ではない。

②前の項目3の【勉強会報告】から、内務省は松島=竹島=鬱陵島と理解していた。したがって「太政官指令」にいう松島は鬱陵島であると内務省は理解した。

http://www.kr-jp.net/member/ronbun_cl/tsukamoto/tsuka-2209-naitan.pdf

【コメント】①塚本は、佐田らの報告書を単なる個人の見解と低く評価する。しかし、この報告書から民部省・外務省・太政官など日本政府の関係機関に、竹島(鬱陵島)とその隣島である松島(独島)も朝鮮付属という認識が生じ、国政に影響を与えた。それまで竹島(鬱陵島)を日本領だろうと考えていた民部省は、この報告書を受けとった翌年、竹島を現地調査した福岡藩士族の藤茂親から出された「竹島航行漁獵願書」に対し、日朝間で所属に関する議論があった土地なので試験渡航であっても認めないとして却下した。「単なる」報告書が国政の指針になったのであろう。民部省は後日、大蔵省に、次いで内務省に吸収された。

②かつて池内敏から、「塚本は自らの論証過程を「史料を総合的に検討」したものと述べるが、その実は、史料の恣意的な切り取り、継ぎはぎによって正反対の結論を導いてみせたにすぎない。こうした「論証」は学問的な営為ではない・・・不要・不当は混乱を議論の現場に持ち込んでいるだけのことである」と批判された。記事②は、あるいはこれに対する反論かと思われたが、塚本は池内の批判に沈黙を続けているようである。

5. 【DVD】「最新の研究による竹島＝独島問題」

趙吉夫・漆崎英之・竹島＝独島問題研究ネット

「竹島の日を考え直す会」が結成されて10年を機に、竹島問題に関して確かな最新の情報でゆるぎない知識を身につけ、さまざまな主張に対し、その真偽をしっかりと見極めるために制作されたDVD。

第1章1節、竹島＝独島問題とは

第1章2節、竹島＝独島領有権の概略

第2章、江戸時代の竹島＝独島、—研究者間の激しい論争

第3章、近代の竹島＝独島、—資料解釈をめぐる激論

第4章、現代の竹島＝独島、—日本の独立と国際政治

このDVDは、次の項目6に記された、6月3日の集会にて公開予定。

6. 【集会】第5回「竹島の日」を考え直す集い in 東京

竹島＝独島問題を正しく理解しよう

第1部 講演「島根県の学習リーフレット『竹島』の特徴」

講師: 朴炳涉 博士(竹島＝独島問題研究ネット、代表)

第2部 DVD視聴「最新の研究による竹島＝独島問題」

解説: 漆崎英之氏(日本キリスト改革派金沢教会 牧師)

日時: 2023年6月3日(土)14:00～16:30(開場 13:30)

場所: 貸し会議室秋葉原加藤 秋葉原 No. 67

<https://www.google.com/maps/search/%E8%B2%B8%E3%81%97%E4%BC%9A%E8%AD%B0%E5%AE%A4%E7%A7%8B%E8%91%89%E5%8E%9F%E5%8A%A0%E8%97%A4/@35.6983548,139.7735559,17z/data=!3m1!4b1>

主催: 「竹島の日」を考え直す会

案内ビラ: <http://www.kr-jp.net/sympo/tky-230603-dvd.pdf>

○ 竹島＝独島問題ネットニュースのバックナンバーは下記で見られます。

(半月城通信)http://www.han.org/a/half-moon/mokuji.html#net_news